DISTRICT 2500
OBIHIRO ROTARY CLUB
No.3205
第3522回例会
平成29年４月５日
方針 COOL ROTARY
会長 佐藤 真康
2016−17年度国際ロータリーのテーマ 人類に奉仕するロータリー

■会長報告

佐藤　真康会長

あたたかくなりました。家の前には福寿草が咲いていて、小さい時から見慣れた風景ではありますが、春の兆しを感じますね。

3月18日に行われたIMでは、奥原ガバナー補佐を中心に、加藤実行委員長、会員の皆さんには大変お世話になりました。お陰さまで、無事終了できました。協力に関しまして、お礼申し上げます。

今月のロータリーのテーマは「母子の健康」月間です。先月の「水」とならび重要なテーマだと思います。

世界では、今なお出産数10万人あたり210人の妊産婦がなくなっています。妊産婦の死因としては分娩時の出血多量・感染症・中絶による合併症等です。我が国の場合は、10万人あたり3.8人です。そして出生数1000人あたり20人の新生児が命を落としています。新生児の死因としては、早産・栄養不良・感染症等があげられます。日本では、1000人あたり1人の死亡率であることと比較すると、いかに多い数字かおわかりいただけると思います。現在、栄養失調や不十分な医療・衛生のために亡くなる5歳未満の子どもの数は、世界で700万人と推定されています。

いずれも適切な医療サービスの提供・家族計画の指導・疾病予防の啓発・栄養失調の予防といったケアに取り組むことで、多くの命を救うことができます。そして、ロータリーは、世界各地で、母子の健康を改善し、妊婦・乳幼児の死亡率を減らすための活動と研修を支援しています。

世界の健全な持続・発展は、母子の健康を抜きにしては語れず、ロータリアンとして重点的に取り組まねばならない問題なのです。

■プログラム

ロータリー情報・記録保存委員会
和田　賢二委員長

「第2回情報集会報告会」
テーマ:「ロータリーの奉仕とは」

1組　主人役:小白　智志　世話役:小水　基弘
日時　平成29年3月1日（水）19:00より
場所　十勝ダイニング　ふる屋
参加者　太田　隆博・奥原　宏・佐藤　真康・長橋　成匡
藤森　裕康・森下　勉・井上　洋一

・クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕の五大奉仕が言われるがそもそも奉仕とは他人の為にする事である。
・奉仕はボランティア、サービスに似た事で奉仕活動をする事で自身のストレスの軽減になる。つまり他人の為にする事が自分の為にもなっている。
逆に地区大会、IM等の大きな大会を主宰（クラブ奉仕）すると大きなストレスにもなるが会員皆に喜ばれて終了すると大きな喜びに変わる。
・ロータリーに入会するまでは気付かなかったが自身の仕事を通して周りの人、地域の為になっている（職業奉仕）。また長続きさせる為には仕事に役立つロータリー活動が必要である。一つの例として帯広空港利用促進エージェント連絡協議会は目先の利益ではなく業界全体、地域社会に貢献されている。結論として見せかけでは無く本物である事が重要である。
・四つのテストに代表される『真実かどうか』『みんなのためになるかどうか』が重要であり、それを突き詰めれば本物（真実）の『奉仕』となる。
本当の愛（TrueLove）こそがロータリーの奉仕である。

2組　主人役:飛岡　抗　世話役:猿川　陽介
日時　平成29年2月17日（金）19:00より
場所　和食なかもり
参加者　大野　清徳・後藤　裕弘・中森　保・山崎　育子

1、本クラブとしての奉仕活動について
・本クラブの奉仕活動の根底、これは自分の職業をもって社会の役に立つことこそが奉仕活動である。
・身近な地域社会から広くは世界に目を向けて、教育支援、医療支援等を継続して行うこと。
2、会員個々の奉仕活動について
（米山・財団・その他クラブ奉仕について経験談等）
・米山記念奨学会とは、日本独自のものであり、国を越え、優秀な人材、世界との架け橋になる人材を育むことで世界平和へとつながることになると思う。
・クラブ奉仕については、個々の職業のレベルを向上させることが奉仕の向上となり、会員同士、また地域社会においても互いに助け合い支え合える社会を創造する
3、会員個々が考える持続可能な奉仕活動
・ボランティア・清掃等の活動、また、個において職業を通じ、社会に貢献すること、そうして得たものを還元し、地域社会にお返しすることを継続して行くことが可能かと思います。
4、本クラブにおける今後の活動についての方向性…を考える
・2項で個々の職業奉仕レベルの向上とあるが、当クラブの会員の多くが、職業において既に地域のトップレベルにあることから、地域社会に更に貢献することを意識しまた認知して頂くことが、更なる奉仕活動につながるものと考えます。
・本クラブは職業奉仕を行う上で人道的な奉仕を行い、高度な道徳基準を守り、倫理観を持って職業に当たります。
各ロータリアンが各々の方面でリーダーシップをとり、世界20カ国における親善と平和に寄与します。

3組　主人役:中島　一晃　世話役:工藤　稔
日時　平成29年3月1日（水）19:00より
場所　十勝ガーデンズホテル
参加者　石神　美代・小沢　昌博・工藤　大輔・後藤　健二
讃岐　武史・栂安　雅満・仁木　宏一

・帯広RC独自で出来る奉仕として、弁護士・医者・不動産鑑定士・税理士などの方々が、一般の方に無料で行う、出前講座や、なんでも相談、ごみ拾いを行うクリーンキャンバスなどなど色々、考えられるが、独自で行う奉仕と言うのは、誰かが手を挙げて、”やるぞ！”としないと進まない。
・国際奉仕は、なかなか馴染みがないが、形的にはロータリー財団のお金を使って国内向けに奉仕をしても国際奉仕に成り得るのではないか？
・以前、大谷高校や三条高校にインターアクトクラブを作る話が有ったが、現在、高校に関係した会員が居ないので、難しいのではないか？
・十勝プラザの南側公園に寄贈したパーゴラに植えた植物が、去年の夏にはパーゴラに生い茂ると言われていたのに、伸びが悪く、心配で2回も様子を見に行っている方も居るが、職員の方は、手入れの必要が無くて、喜んでいるのではないか？

4組　主人役:川上　義史　世話役:三浦　啓徹
日時　平成29年2月20日（月）19:00より
場所　ふじもり
参加者　和田　賢二・國枝　千秋・小田　剛・進藤　敦史
伊藤　秀敏・小林　光樹

1.次年度帯広ロータリー会長（國枝会員）の万里一空*
「Let's go」さあいこう！
*万里一空:目的、目標、やるべきことを見失わずに励むこと
・現代は技術進化で生活が便利になり、時間の大切さ、人との繋がりが希薄になっているクラブ運営では伝統と歴史から生まれたことは「伝承」し、必要なことは「変革」することを目標にしている
・ロータリー活動を「義務」と思わず、楽しみを見つけることで課題となる出席率の向上、退会防止、会員増強に繋げたい
・情報集会は小委員会なので、結論を出してはいけない
まとめに拘らず、個人の考え方（漠然と思っていること）自由闊達な意見を出し合った
2.自由意見
・四大奉仕は基本理念として、簡易な奉仕でも奉仕は奉仕であり、あえて垣根をつくる必要はないのではないか
・（奉仕活動は難しいという）固定概念に囚われず広義的にとらえる方が取り組みやすい
・人が望むものがサービスであり、人が喜んでくれることが“奉仕”ではないか
・各会員共に多様な職業をもち、各人職業を通じて、社会奉仕、社会貢献をしている
ロータリーに加入していなければ出会えない人や場面があり、体験や時間は貴重である
・ロータリー活動では、国際奉仕活動など個人でできないことでも実現できることがある
＊グローバル視点で世界に役立っている
例1:「ポリオ献金」は各個人負担が少額ながらグローバルな視点で世の中のためになり、見えないところで誰かが救われている
例2:米山財団:留学生の生活支援を通じて国際貢献、出身国・海外に戻り活躍している卒業後、日本国内に留まるなどして、その体験を基に自らロータリアンとなり、米山財団活動に注力している人もいる⇒目に見える形で還元している例
終了後に和田先輩、小田先輩とご一緒させて頂き、“一つの集団の中での自分”に求められていることを出来るだけ遂行しようと思いました。

5組　主人役:五十嵐聖二　世話役:末次　一郎
日時　平成29年2月28日（火）19:00より
場所　なかもり
参加者　大和田三朗・加藤　健吾・倉野　賢・進藤　恒彦
髙道　伸・内木　泰永・奥　周盛・大類　道雄

●職業奉仕はロータリーの人生哲学。社会貢献や生きがいの面でも自分の人間性を高めることにつながる。他は自分の好きなフィールドで取り組めばよい。国際奉仕は交流することで国際理解や平和、社会奉仕は地域活性化につながる。クラブ奉仕を続けることで世界が広がり楽しみとなる。
●クラブ奉仕は例会に出席することが重要。委員会活動は、取り組むことで新たなことに挑戦することができ、人とのつながりもできる。さまざまな奉仕活動はやがて自分に帰ってくる。
●世界がとんでもなく変化しており、19世紀末や20世紀初頭に戻るような動きがある。AIやIOTにより経済格差はさらに広がりかねない。こうした時代には一人ひとりが職業人としてできることを守っていくことが大事。世界的な格差を埋める活動をするのがロータリーの役割でもある。
●形として見える奉仕が何かあっても良いのでは。たとえばスケート選手の五輪選手育成を応援するなど、全体で取り組めないか。「さすがロータリー」という帯広クラブとして共通して取り組めるものがあればいいという統一見解が見い出された。

このほか、各出席者から福祉・介護や成年後見人、ライフラインであるガスの安定供給、マジシャンとしての施設慰問、JICA等帯広に滞在している外国人とミニバレーを通じた国際交流、地域住民も参加できる防災訓練、植林や清掃、新聞報道など、それぞれが公私で取り組む活動について報告があった。

6組　主人役:佐藤　幸宏　世話役:森田　幹也
日時　平成29年3月1日(水) 19:00より
場所　十勝ダイニング　ふる屋
参加者　曽我　彰夫・橋枝　篤志・森　　武夫

■趣旨説明(主人役)
・國枝次年度会長提供の参考資料を踏まえ、「ロータリー:変化をもたらす」
目的、目標やるべきことを見失わず励む等キーワードにより会員個々人の奉仕について議論し盛り上げよう。前提として、五大奉仕の心がある。

■まとめ
1.誰が何か、困ったときに手当て、フォローすることが奉仕である。
2.奉仕は「汗」をかかなければいけない
3.相手が喜んでくれなければいけない
4.継続的な活動でなければ真の奉仕とは言えない
5.課題感:RC精神から外れるかもしれないが、団体として奉仕活動が有っても良いのではないか。
職業奉仕はお金が絡むから奇弁では？職業によっては矛盾を感じる

■議論要旨
・各職業のプロによる無料相談をしたことがあるが2年で終わってしまった。朝10時から夕方まで15人程度の人が訪れたが奉仕であるのか？場所関係もあり継続性がなかった。喜んでいる人もいたが、相談内容に偏りが出る。無料相談もその後の商売になると奉仕と言えないのではないか
・皆でやっても個人相談であるならば、みんなでゴミ拾いやったほうが明確な奉仕活動と言えるのではないか。(やるべきだなー)
・会社の周辺を全社員でゴミ拾い活動しているが、本当に奉仕と言えるのか？会社アピールもあるから…「矛盾」を感じるな
・ロータリアンも若手が増えて、うるさいベテランがいなくなり思い切った活動、統率がやや薄れてきた感じがする。
・学校への奉仕活動を行った時期もあったが継続性が無いからそれを奉仕といえるのか？
また一人ひとりの精神の問題であるから、体を使って汗を流すことが無く、お金で解決することは奉仕なのか、違うのではないか
・NTTの災害復旧は奉仕ではないか？(笑)社員が喜ぶコメントですね、仕事ではあるものの、復旧はお金のためより使命感でやってはいるが、職業奉仕に含まれると言われるとありがたい。
・仕事そのものは奉仕にあたると思ってやっているが、奉仕が無償となると疑問は残る。

■番外編
・妻に奉仕している→それは聞かれると問題ですね→妻には感謝でしょう！
・個人奉仕として2名の会員が、近所、職場の人の包丁研ぎを無償でしている。趣味であり満足感がある。トマトがスッと切れたと言われるのはうれしい→これは奉仕だね！
・新聞で無償掲載されるのは奉仕？宣伝効果狙ってなければ奉仕では(笑)

7組　主人役:野村一仁　世話役:鈴木優
日時　平成29年3月3日(金) 19:00より
場所　十勝ダイニング　ふる屋
参加者　奥田　　潔・河村　知明・合田　倫佳・櫻井　博一
橘　　精三・長澤　秀行・森　　光弘・渡辺喜代美

・様々な業種、ベテランから新人までの参加が得られ、各自が感じている「奉仕」についての意見交換がなされた。
結論までには至らなかったものの、「ロータリーの綱領」に掲げられている「道徳的水準を高め、ロータリアン各自が義務を通じて社会に奉仕するためにその業務を品位有らしめること」を、それぞれの立場や捉え方による意見がなされた。重複意見も多く、集約したものは以下の通り。
・肩肘立てず、肩苦しく考える必要もなく、まじめに業務を全うすることが大切で、これが結果として「奉仕」に繋がるのではないか。
・「奉仕」を難しく考える必要はなく、自分の仕事をしっかりと行うことが結果に結びついていく。
・ロータリーを通じ、「奉仕」について意識するようになり、色んなことで考えるようになった。出来る事をする。これも「奉仕」であると思う。
・個人ボランティアにも積極的に参加している。ロータリアンだから出来る活動もあるはずなので、それを見出して行きたい。
・以前、「なんでも相談所」を無料で実施したこともある。大変であったが成果は感じられた。
・「四つのテスト」にある、真実、公平、友情、みんなのため、これは、「ロータリー奉仕」のキーワードとして明記されている。決して難しく捉える必要はないと思う。
・大小に関わらず、地域に貢献することも「ロータリー奉仕」の努めであると思う。
・「奉仕」について「実行」することも大切であるが、まずは一人一人が考え、認識を高めていくことが必要であると思う。

■会務報告　　**工藤　大輔 幹事**
①帯広西RC、移動例会開催のご案内
日時　4月20日(木)　午後0時30分　場所　ガーデンスパ十勝川温泉
②帯広南RC、創立記念夜間例会開催のご案内
日時　4月24日(月)　午後6時30分　場所　北海道ホテル
③帯広北・帯広東・音更RC、合同夜間例会開催のご案内
日時　4月26日(水)　午後6時30分　場所　ホテル日航ノースランド帯広
※尚、帯広東RC、4月25日(火)の繰下げ例会と致します。
帯広北RC、4月28日(金)の繰下げ例会と致します。
④帯広西RC、夜間例会開催のご案内
日　時　4月27日(木)　午後6時30分
場　所　北海道ホテル

■ゲスト紹介
RI第2500地区米山記念奨学生
ティアナ　ナバロナ　ランドリアナントアンドロ 様

■委員会報告
・ボーイスカウトへの助成金贈呈　青少年育成委員会
進藤　恒彦 会員

・出席報告
4月5日例会の報告　　会員総数90名　うち免除会員3名　出席者数54名
3月18日例会の報告　IMのため100%となります。

■ニコニコ献金　　**親睦活動委員会**
和田　賢二 会員
本日プログラムを担当させて頂きます。発表者の皆様で協力ありがとうございます。
奥原　　宏 会員
IMの運営において会員の皆様に大変お世話になりました。
國枝　千秋 会員
次年度　第一回クラブ協議会も終了し、本日から委員会の打ち合わせ会議も始まります。会員の皆様、宜しくお願いします。追伸、「まご」が小学一年生になりました。
讃岐　武史 会員
刀圭会の新しい施設りんどうが明日、正式オープンとなります。建設委員として、ホッとしています。
神山恵美子 会員
本日、歯科衛生士科14名、介護福祉課の留学生4名を含めた新入生67名の入学式でした。
長谷川　賢 会員
新施設『りんどう』、皆様のおかげ様で無事スタートできそうです。ありがとうございました。
渡部　　聡 会員
2年間大変お世話になり、ありがとうございました。

■本人お誕生祝い
中島　一晃 会員　五十嵐聖二 会員
森田　幹也 会員　大森　康次 会員
神山恵美子 会員

■結婚記念日祝い
後藤　裕弘 会員　小白　智志 会員　小澤　昌博 会員
■出席表彰記念
合田　　修 会員

↑携帯サイトができました。バーコードリーダーで読み込む事ができます。

例会日 / 水曜日 12:30 ～ 13:30　　例会会場 / ホテル日航ノースランド帯広　TEL0155-24-1234
●創立 / 昭和 10 年 3 月 15 日　●認証番号 /3820　●戦後再開 / 昭和 25 年 12 月 19 日
●事務局 / 帯広市西 3 条南 9 丁目 経済センタービル 4F　TEL0155-25-7347　FAX0155-28-6033
●発行 / クラブ広報
●委員長 / 高原　　淳・副委員長 / 野村　一仁
委　員 / 木村　裕氏・池田　健太・加藤　健吾・小林　光樹・髙橋　博樹・横山　　聡
●ホームページアドレス /http://www.obihiro-rc.jp